



文京 白ばら

題字 和田 清

第 71 号

文京区明るい選挙推進協議会
 文京区選挙管理委員会
 〒112-8555 文京区春日1-16-21
 ☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

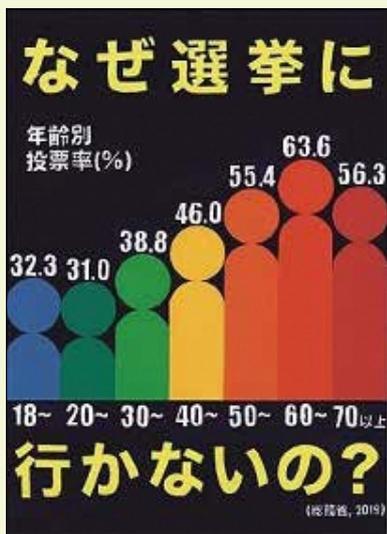
令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

(公財)明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞

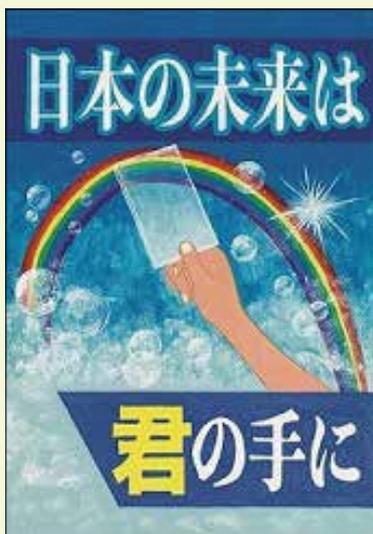
文京区優秀賞・東京都優秀賞

文京区最優秀賞

文京区優秀賞・東京都優秀賞



文京区立茗台中学校2年 島野 陽菜さん



文京区立本郷台中学校1年 原 周平さん



東京都立工芸高等学校1年 谷口 満菜さん

Vサポ活動報告

今年度は、SNSによる情報発信が中心となりざるを得ないコロナ禍での活動ですが、秋の某日、選挙啓発動画の撮影に参加しました。

自分たちの言葉で、投票順序の紹介や「選挙に行こう!」と画面を通して同年代に呼びかけることができ、楽しかったです。ぜひご覧ください。(動画についての詳細は2面)



Vサポデザインのマスクケース (早く街頭啓発できますように!)

まだ啓発活動に厳しい状況が続いていますが、夏の都議会議員選挙に向けて、メンバー同士で意見を出し合い、工夫して啓発に取り組みますので楽しみに!

応募者：区内の小・中・高校生 応募総数：208点
 ポスターコンクール協力校（感謝状の贈呈）：
 区立指ヶ谷小学校、区立第八中学校、都立工芸高等学校
 区の審査：最優秀賞1点、優秀賞：22点、入選：10点
 東京都と全国（中央）の審査：
 優秀賞2点（うち1点は全国審査で「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」受賞）、入選4点

7月4日は 東京都議会 議員選挙





明るい選挙啓発ポスター
コンクール審査結果

文京区優秀賞



都立工芸高等学校1年 荒木 こももさん



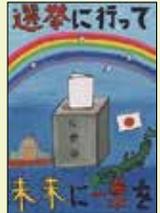
都立工芸高等学校1年 荒 一翔さん



文林中学校2年 今井 佐陽乃さん



文林中学校2年 久武 颯花さん



指ヶ谷小学校6年 加藤 ほのかさん



指ヶ谷小学校1年 黒岩 綾乃さん



都立工芸高等学校1年 庄司 伊織さん



都立工芸高等学校1年 小西 舞緒さん



都立工芸高等学校1年 仮屋園 波音さん



都立工芸高等学校1年 金子 涼見さん



都立工芸高等学校1年 角田 春和さん



都立工芸高等学校1年 生島 諒子さん



都立工芸高等学校1年 中島 寿珠さん



都立工芸高等学校1年 常多 愛美さん



都立工芸高等学校1年 近藤 夏芽さん



都立工芸高等学校1年 服部 心優さん



都立工芸高等学校1年 野村 佳央さん



都立工芸高等学校1年 土田 百都花さん

文京区入選受賞者（敬称略）

小学生の部			中学生の部		
学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
林町小学校	2	松俵 沙歩	茗台中学校	2	橋口 千尋
指ヶ谷小学校	4	土肥 丈定	音羽中学校	2	平原 侑真
本郷小学校	6	下坂 滯礼	第十中学校	2	大森 美咲
	3	正木 みやび		2	杉田 珠江
			1	岡崎 健太	
			1	濱 武佐士	



都立工芸高等学校1年 荒川 瑛莉菜さん



都立工芸高等学校1年 福木 誠さん



投票順序紹介動画を作成しました

毎年出展している秋の東洋大学学園祭が、コロナ禍での今年は、オンライン開催になりました。今まで実施してきた選挙に関するクイズや、投票体験などは出来なくなりましたが、オンラインならではの印象に残る啓発方法は何かを考え、動画を作成することにしました。

動画は、「投票所って、どうなっているんだろう？」そんな疑問を解消する内容で、投票所内の様子と投票の流れをVサポメンバーが紹介するものです。

撮影当日は、5人のメンバーが参加し、出来上りにわくわくしながら、なかなか経験できない※グリーンバックでの撮影に、少し緊張した面持ちで臨みました。

動画について、わかりやすく紹介した楽しい動画が完成しました。今後の啓発に活用していきます。



Vサポメンバーメッセージ

辻 まひろ

昨年は、感染症の影響で例年通りの活動を行うことが出来なもので、楽しい期間があった一方で、啓発動画作成への参加や勉強会の実施など新しいことに挑戦する機会に恵まれる一年となりました。メンバーそれぞれが、自分たちでできることを改めて考え直すきっかけにもなったのではないかと思います。

私個人としては、選挙出前授業に参加し、学生の皆様たちが選挙について真剣に考えている姿を見られたことが、自身の啓発活動への更なるモチベーションの向上に繋がったことに加え、改めて、啓発活動の意義を考える良い機会になったと感じました。

今年は、また街頭啓発活動が可能になることを期待すると共に、嬉しいことに昨年、複数名のメンバーを迎えることが出来ましたので、メンバー間の意見交換や活動参加が一層活発となるような一年に出来たらと考えています。



※グリーンバックとは：映像のクロマキー合成（映像の一部を透明にし、そこに別の映像を合成する技術）のために用いられる緑色の背景のこと。



白ばらセミナー～情報社会を生き抜くために～

令和2年12月12日（土）
区民センター3A会議室で開催

今年はコロナ禍ということもあり、来場者の皆様への検温・手指消毒のお願い、観客席の間隔を空けて定期的な換気を行うなど、十分な感染対策を講じた上での開催となりました。

【第一部】基調講演

講師：流通経済大学教授 龍崎孝氏 『政治とメディア、その舞台裏』

ご自身の政治記者としての体験談を交え、これまでの日本の政治情勢について語る、大変興味深い内容でした。普段はなかなか聞けない政治の裏話もあり、興味の尽きないひと時でした。

【第二部】若者フォーラム（パネルディスカッション）

進行役の黒崎氏を中心に、異なる若年層啓発グループに所属する3人の登壇者と第一部講師の龍崎孝氏を交えて、ネット社会へと急速に進む現代社会において、若者の立場から普段どのような媒体で情報の発信や取得をしているかなどの意見交換を行いました。中でも、登壇した選挙啓発団体の学生が、コロナ禍の難しい状況での執行となった東京都知事選挙において、どのように情報を取得し発信したのか、また所属団体の活動で工夫したことなどの話は大変興味深いものがあり、多くの来場者が熱心に耳を傾けていました。改めて、ご来場いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。



- コーディネーター
黒崎 洋介 氏（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
- パネリスト
小林かさね 氏（学生団体ivote）
根本 絢 氏（MINATO「選挙いっ得?!」プロジェクト）
山田 龍尚 氏（文京Vote Supporters）

管外視察

令和2年11月11日（水）、秋晴れの中、富岡製糸場を視察しました。



明治5年の設立から100年余り、日本の近代化に貢献し、国家繁栄の礎となった富岡製糸場は、平成26年に世界遺産登録され、現在もほぼ変わらぬ姿で大切に保管・管理されています。

設立当時、世界最大級の製糸工場は、渋沢栄一や伊藤博文など、明治国家を支えた偉人を語る上でも重要な施設の一つです。

この視察を通じて、日本近代史への見識を深め、政治との関わりを学べたことは、今後の話しあい活動に活きる貴重な機会となりました。

地区別座談会

令和2年10月の話しあい強調月間に2会場で開催

今回のテーマである「家庭、地域での主権者教育」に関し、初めに明るい選挙推進協議会会長から、その取り組みについて、また、副会長による自身の経験を基にしたお話から、意見交換を行いました。

「子どもが幼い頃から、テレビのニュースなどを取り上げて、選挙や政治に触れる機会が作れる親子連れを見ると、出前授業の効果ではないかと感じる」など、様々な意見が交わされ、身近な場面での主権者教育について、改めて考える良い機会となりました。



文京シビックセンター 26階スカイホール

編集後記



正に、風雲急を告げる令和二年。年度はまだ続いておりますが、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行と、それに対するワクチンの開発競争で、世界中が大騒ぎした一年でした。政府の目論見では、今年の五月末頃までには、ほぼ沈静化させるなどとも言われていますが、今後どうなっていくのか心配です。

さて、そのような中でも我々推進委員は、富岡製糸場の視察や、龍崎孝氏の政界裏話も聴くことのできた白ばらセミナー等で得た知見を活かし、地道に話しあい活動を続けてまいりました。年度末に向けても、学校に向向いの選挙出前授業・模擬選挙、ポスターコンクールの作品展示会等がございませう。先輩諸氏が築き上げた投票率都内随一の名声を汚すことのないよう、これからも気を引き締めて頑張りたいと思います。

（鎌倉精一 記）

選挙人名簿登録者数（3月1日現在）

男性	86,730人
女性	97,932人
合計	184,662人

編集委員

- 北條みつ枝・田中 福子・小守 正平
船田 和子・鎌倉 精一・尾藤 育美
武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子
（地区順）